できたての曲のコンサート

CONCERT OF MUSIC TODAY

中国・四国の作曲家 2016 in 徳島

～創造と交流の祭典～

10/29 土

開場 12:30　開演 13:00

北島町立図書館・創世ホール

徳島県板野郡北島町新喜来字南古田 91 Tel. 088-698-1100

一般 2,500 円　学生 1,500 円（全自由席）

未修学児の入場はご遠慮下さい

招待演奏家　曽我部清典さん（トランペット）を迎えて

特別企画〈子どもたちと作曲家のコラボレーション〉

ぼくたちの詩から生まれた音楽

― 鳴門教育大学附属中学校の生徒たちの詩からインスピレーションを得て ―　※印の曲

詩：大櫛 智也，乙瀬 泰輝，上地 桃珠子，上林 未侑，栗山 由梨，西條 涼花，杉本 梨緒，田村 瑠実子，茶本 真愛，中山 真佳，平田 優里菜，福岡 慶太，藤本 芽実，三木 地大，森井 心平，山口 莉奈，横山 心優，吉田 翼

第一部（13:00～）

中村 典子	響 resonare (2016, 改訂初演)	Vla. 山田 沙織, Perc. 宮本 妥子, 中村 典子
松岡 貴史※	中学生の詩による2つのタブロー「涙」「天気」（初演）	Trp. 曽我部 清典, Vn. 猪子 恵
二宮　毅	残雪に風の鳴る峯 (2016)	Pf. 二宮 英美歌
熊澤 住子※	中学生の詩による3つの歌「いざない」「友人関係」「応援」（初演）	Sop. 井上 ゆかり, Pf. 平賀 理絵
山本　準	《The War Stood in the End of the Corridor》（初演）	Trp. 曽我部 清典
木下 大輔	ピアノ連弾曲集より（一部初演）	Pf. 川内 麻紀, 石原 チエ

第二部（14:30～）

近藤 裕子	パラメシウム《Paramecium》マリンバ独奏のための	Mar. 碁盤 恭子
森田 泰之進	《mutes meet beats》（改訂初演）	Trp. 曽我部 清典
伴谷 晃二※	「季節への誘い、ピアノのために (2016)」（初演）	Pf. 平賀 理絵
山下 耕司	《Viola Sonata》より 第4楽章	Vla. 山田 沙織, Pf. 三村 加奈
田中 照通※	独奏トランペットのための「アリア〈海の中〉」（初演）	Trp. 曽我部 清典
米倉 由起	《A Piece for Tenor Saxophone》	Sax. 米倉 孝
松岡 みち子※	中学生の詩による2つのうた「たんぽぽ」「青春」（初演）	Mez.Sop. 戸邉 祐子, Fl. 板東 久美, Sax. 新田 恭子

第三部（16:10～）

青木 省三	《Arc Ⅲ》for two pianos	Pf. 青木 俊子, 青木 省三
神本 真理	《Promenade flottante》（初演）	Trp. 曽我部 清典
新倉　健※	「EPITAPH - ヤヌシュ・コルチャックに -」（初演）	Ob. 松田 素子
小林 隆一	2 つの夜想曲～ピアノの為の（一部初演）	Pf. 常光 めぐみ
齊藤　武※	未来系～トランペット、アルト、ピアノのための～（初演）	Trp. 曽我部 清典, Alto 小川 明子, Pf. 山田 啓明
遠藤 雅夫	<クリスタライズ>4手のために（初演）	Pf. 松浦 綾音, 遠藤 雅夫

主催：中国・四国の作曲家
共催：（一社）日本作曲家協議会，北島町立図書館・創世ホール
助成：（公財）徳島県文化振興財団，文化立県とくしま推進事業 文化の力によるまちづくり支援事業，（公財）阿波銀行学術・文化振興財団
協賛：第 18 回徳島県民文化祭協賛事業
後援：日本現代音楽協会，徳島県，北島町教育委員会，徳島新聞社，朝日新聞徳島総局，毎日新聞社徳島支局，NHK 徳島放送局，四国放送，鳴門教育大学，徳島文理大学，岡山大学，くらしき作陽大学，中国学園大学，中国短期大学，ノートルダム清心女子大学，エリザベト音楽大学，山口芸術短期大学，鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

「中国・四国の作曲家 2016 in 徳島」実行委員長：伴谷 晃二　　プロデューサー：松岡貴史　松岡みち子

チケット取り扱い：北島町立図書館・創世ホール，黒崎楽器（本店，鳴門店，阿南店，藍住センター），仁木文化堂，音楽喫茶みき，平惣全店

問い合わせ先：「中国・四国の作曲家 2016in 徳島」実行委員会（088-644-3071）
北島町立図書館・創世ホール（088-698-1100）

（この事業には宝くじ収益金の一部が使われています）

中国・四国の作曲家 2016 in 徳島 ～創造と交流の祭典～

PROFILE

青木 省三(本会副会長 正会員・岡山)
1951年,長野県生まれ。京都市立芸術大学音楽学部音楽学科作曲専修卒業。作曲を,安部幸明,河田文忠両氏に師事。日本作曲家協議会会員,作曲家グループ「アルビレオ」同人。現在,中国学園大学教授。主要作品:Arc series,Microcosm series,Flow series,「風の歌」series,「智恵子抄三章」等。

熊澤 住子(正会員・岡山)
東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を長谷川良夫,北村昭,小林秀雄,三枝成彰の各氏に師事。主な作品として,堀口すみれ子の詩による6つの混声合唱曲「風のあしおと」,「桃太郎」～フルート・オーケストラのための～等があり,最近は子どものための作品にも力を注いでいる。また,「伴奏付けと即興演奏」,「聴く・表現する・音楽力を育む!」等,楽譜・著書も多数出版されている。現在,ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科教授,日本作曲家協議会・日本音楽教育学会会員。

齊藤　武(正会員・岡山)
山梨県出身。東京藝術大学大学院修了。第5回名古屋文化振興賞。日本作曲家協議会,中国・四国の作曲家,九州沖縄作曲家協会各会員。現在岡山大学教授(兵庫教育大学連合大学院後期博士課程兼務)。主な作品:弦楽四重奏曲,ピアノ曲「秋日の慈光」(JILACD出版),歌曲集「悩みはイバラのようにふりそそぐ」(JFC出版),電子音楽作品「交差する命路」(パリ国立ラジオ放送局制作),創作ミュージカル「東への風」(宮崎市制作),オーケストラのための「岡山幻想曲」(2015東アジア現代音楽祭)など。

田中 照通(正会員・山口)
島根大学教育学部特音課程卒業。同大学教育専攻科修了。第44回日本音楽コンクール第2位,1987年山口県芸術文化振興奨励賞,2007年山口県文化功労賞を受賞。1991年ドルトムント・アクティブムジーク,1994年ダルムシュタット夏期講習会,1995年韓国・嶺南現代音楽祭等に招待され作品を発表。「秋吉台国際20世紀音楽セミナー」後,現代音楽セミナー「秋吉台の夏」を運営。山口芸術短期大学特任教授,山口県音楽協会事務局長,日本作曲家協議会・日本現代音楽協会会員。

伴谷 晃二(本会会長 正会員・広島)
国立音楽大学大学院修了後,パリ,エコール・ノルマル音楽院卒業。オリヴィエ・メシアン他に師事。現在,エリザベト音楽大学名誉教授,中国・四川音楽学院他客員教授。広島交響楽協会理事。日本作曲家協議会会員。「東アジア音楽祭inヒロシマ」音楽監督。'98年文化庁芸術祭優秀賞受賞。'07年<ISCM−ACL香港>他多数入選。中国,韓国,台湾,香港他,国際現代音楽祭招待作曲家。'15年「ヒロシマの詩Ⅵ」(ハノーバー市委嘱作品)'15年「CD　伴谷晃二作曲作品集」(ブレーン),'09年「広島市民賞」受賞。

新倉 健(正会員・鳥取)
1951年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。武蔵野音楽大学大学院修了。作曲を福島雄次郎,金光威和雄,指揮を長谷川朝雄,久保田洋の各氏に師事。グループ「樹」,作曲工房「パパゲーノ」同人。主な作品に,オペラ「ポラーノの広場」,オペラ「窓」,「広島が言わせる言葉」,朗読と室内楽のための「音の絵本シリーズ(1～12)」,混声合唱組曲「酒神礼讃」,少年少女合唱のための組曲「子どもの肖像」,「おじゃれ子どもたち」などがある。鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授。

松岡 貴史(正会員・徳島)
東京藝術大学作曲科卒業,同大学大学院修了。1981年,ドイツ学術交流会(DAAD)の給費留学生として渡独。1982年シュトゥットガルト市作曲賞,1985年エルディング・オルガン曲国際作曲コンクール第1位,第30回徳島県芸術祭最優秀賞(1996年)他の受賞。作品は国内の様々なコンサートの他,海外の音楽祭でも取り上げられている。「松岡貴史&みち子作品展」を国内外で4回開催。現在,鳴門教育大学特命教授,徳島文理大学非常勤講師。日本現代音楽協会,日本作曲家協議会会員。

松岡 みち子(正会員・徳島)
東京都出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後,同大学非常勤講師(作曲科研究室助手)。ドイツ,デュッセルドルフ音楽大学に留学。作曲を長谷川良夫,南弘明,北村昭,甲斐説宗,近藤圭,ギュンター・ベッカーの各氏に師事。徳島県芸術祭最優秀賞受賞,東京国際室内楽作曲コンクール入賞,奏楽堂歌曲作曲コンクール入選。作品は日本の他,海外の音楽祭などで演奏されている。「松岡貴史&みち子作品展」を徳島とハンブルグで4回開催。現在,徳島文理大学音楽学部講師,日本作曲家協議会会員。

山下 耕司(正会員・岡山)
愛知県立芸術大学卒業,同大学院修了。作品の多くは古典的なフォルムを重視した室内楽,ピアノ曲,声楽曲が中心であるが,ここ数年,音の流動性,自発的な楽想を重視し,それらをドラマティックに展開することを心掛けて筆を進めることが多くなった。2009年から3回にわたり室内楽作品による個展を開催したが,来年3月に4回目の個展を予定している。現在,くらしき作陽大学・大学院教授。日本作曲家協議会,東アジア現代音楽プロジェクト,中国・四国の作曲家,岡山県演奏家協会,各会員。

米倉 由起(正会員・岡山)
国立音楽大学作曲科卒業,同大学院修了。インディアナ大学大学院留学。主な作品として「"After the Rain"～Sax.Duoのために」(World Saxophone Congress 第10回イタリア大会),2005年岡山国体開会式歓迎演技「丹頂の舞」,第25回岡山国民文化祭・岡山県バレエ連盟作品「扇の童女と笛吹」,サクソフォン4重奏のために(2014年ESDフォーラム参加)など。現在くらしき作陽大学・短期大学非常勤講師。日本作曲家協議会会員。

遠藤 雅夫(準会員・東京)
東京藝術大学大学院修了。日本音楽コンクール入選,音楽之友社作曲賞受賞,文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。91年<国際現代音楽祭ISCM・チューリッヒ>,98年<クラコフ音楽週間>,99年ルーマニア<日本芸術週間>などに参加。07年韓国<21世紀音楽学会>主催国際現代音楽コンクール審査員,2013年アジア作曲家連盟シンガポール大会青年作曲賞審査員を担当するなど,内外で活躍している。現在(一社)日本作曲家協議会副会長,日本・ロシア音楽家協会運営委員長,日本現代音楽協会,越の風会員。

木下 大輔(準会員・横浜)
東京藝術大学大学院音楽研究科修了。日本の音楽展作曲賞,奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門など,受賞・入選歴多数。アジア作曲家連盟音楽祭,JFC日本の作曲家シリーズをはじめ,内外各地の演奏会に頻繁に出品。カワイ出版,音楽之友社,マザーアースなどより楽譜出版,CD発売。2016年春に個展演奏会を開催。主要作品:三つの女の歌,追分(Vc),弦楽三重奏曲,晴れた日の記憶(Cl,Pf),偏西風(Mar)ほか。現在,日本教育大学協会全国音楽部門副代表。日本現代音楽協会・日本作曲家協議会各会員。

小林 隆一(準会員・東京)
作編曲家/ピアニスト。日本大学芸術学部音楽学科作曲専攻首席卒業,同大学院修了。母校にて作曲を貴島清彦,湯浅譲二,和声を峰村澄子,ピアノを松谷翠各氏に師事。第52回読売新人賞,学科主任賞,第5回北海道青少年科学文化振興賞。アジア音楽祭03&10東京,ISCM/ACL世界音楽の日々07　香港,中国・四国の作曲家08　広島に作品が入選する。CD《小林隆一作品集～象徴の森》《日本の作曲家2015》。現在,日本大学講師。日本作曲家協議会,日本音楽学会会員。

近藤 裕子(準会員・宮城)
東京都出身。国立音楽大学を首席で卒業,　同大学院修了。武岡賞受賞。NHK イタリア語講座の音楽担当,　千葉県文化振興財団の作編曲。日本写真家協会 JPS 展入選。アジア音楽祭 2012（東京）で弦楽三重奏≪Isola Madre≫を再演。2015 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル特別演奏会 in 滋賀で作詞・作曲した《ひとつになる》を演奏。2015 東アジア国際現代音楽祭（韓国）に参加。アジアの伝統・アジアの現代 2016（東京）で石巻の小学生の詩による《ことば》を東京初演。石巻専修大学教授。

中村 典子(準会員・京都)
京都市立芸術大学を経て京都市立芸術大学大学院首席修了。在学中ブレーメン芸術大学へセメスター派遣留学。故廣瀬量平,北爪道夫,前田守一,藤島昌壽,田島亘,故H.J.カウフマン,G.アミ等各氏に師事。日本,韓国,中国,台湾,アメリカ,メキシコ,ドイツ,フランス,スイス,オーストリア,スペイン,イタリア,ノルウェー,スウェーデン,イスラエル15カ国各地の音楽祭,放送局,音楽院,大学でたびたび作品上演,講演。現在,京都市立芸術大学音楽学部准教授。京都芸術センター運営委員。

二宮 毅(準会員・北海道/福岡)
1972年生まれ。笹川賞,名古屋文化振興賞,EACA国際作曲コンクール入賞。札幌と福岡を拠点に,日本の古典文学や伝統芸術に宿る情緒性を反映した作品を多数発表。パン・ムジーク・フェスティバル,嶺南国際現代音楽祭,東アジア国際現代音楽祭,合浦湾国際現代音楽祭,テグ国際現代音楽祭(以上韓国),上海之春国際音楽祭(中国),高雄現代撃楽節(台湾)他,欧州各地でも上演,放送される。2015年ボルドー音楽院(仏)レジデンス作曲家。福岡教育大学教授。北海道作曲家協会会長。

神本 真理(公募作品・東京)
神戸生まれ。東京藝術大学・大学院,パリ国立高等音楽院にて学ぶ。これまでに,東京フィルハーモニー交響楽団,Ensemble InterContemporain, Aleph, Reconsil等の団体,また優れたソリストたちによって国内外で作品が演奏されている。自身のプロデュース公演《Les temps croisés》を2009年と2013年に開催。2017年春,オーケストラ作品が初演される。現在,東京藝術大学,国立音楽大学,桐朋学園大学,各非常勤講師。

森田 泰之進(公募作品・東京)
作曲を松平頼暁,　Frédéric Durieux の各氏に師事。1998 年福井ハープ音楽賞コンクール作曲部門 2 位,2002 年日本現代音楽協会新人賞,2003 年日本交響楽振興財団作曲賞特別奨励賞,2009 年ヴァレンティノ・プッキ賞 (イタリア),2013 年 ISCM 世界音楽の日々 (ウイーン) 入選。

山本 準(公募作品・東京)
大学時分に自己流で作曲した室内楽曲を友人と共に演奏しレコードを制作した。これが縁で野田暉行氏に師事することとなった。その後紆余曲折あり,還暦も近くなって今回が自作の初めての公開演奏となる。私は,音楽は「こうでなければならない」という絶対的な形をもつと同時に「だいたいこんなものだ」あるいは「なんでもいいのだ」という側面も合わせ持つと考える。数学同様「その本質は自由さにある」。これを実感する為に40年を費やしたのだとすれば,それも無駄ではなかったのだと思う。